

# 2022年12月期第3四半期 決算補足説明資料

---

株式会社アプリックス(証券コード：3727)  
2022年11月11日

## 会社名

株式会社アプリクス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒169-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

50百万円 [2022年9月末現在]

## 従業員数

45名（連結） [2022年9月末現在]

## マネジメント体制（2022年9月末現在）

代表取締役社長	倉林 聡子
取締役	鳥越 洋輔
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦

## 事業内容

Aplix IoT プラットフォーム事業  
エンジニアリングサービス事業  
MVNO事業

## グループ会社

株式会社BEAMO  
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社  
（略称：SMC）

1. 2022年第3四半期連結決算概要
2. 2022年12月期業績予想進捗状況
3. ビジネスの現況報告
4. 参考情報
5. 事業の状況
  - ・Aplix IoT プラットフォーム
  - ・エンジニアリングサービス
  - ・MVNO

# 1. 2022年第3 四半期連結決算概要

2022年12月期第3四半期連結決算

売上高	2,542百万円	前年同期比 ▲3.9%
営業利益	4百万円	—
EBITDA	82百万円	—

※ EBITDA：営業利益+償却費（減価償却費、のれん償却費、顧客関連資産償却費）



売上高	126百万円	前年同期比 ▲9.7%	売上高	309百万円	前年同期比 ▲10.8%	売上高	2,107百万円	前年同期比 ▲2.4%
営業利益	▲17百万円	前年同期比 —	営業利益	85百万円	前年同期比 12.5%	営業利益	76百万円	前年同期比 2,794.4%

※MVNO事業は本年度より新収益認識基準適用  
 ※セグメント売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

■ 連結売上高

2,542百万円

新収益認識基準適用の影響等により前年同期比から3.9%の減少

■ 連結営業利益

4百万円

MVNO事業が好調に推移したこと等により前年同期▲104百万円から108百万円増

■ EBITDA

82百万円

前年同期▲24百万円から106百万円増

## ■ 連結売上高

- 世界的な半導体・部材不足等の影響による製品売上の鈍化や顧客における導入スケジュールの延期、エンジニアリングサービス事業における一部顧客のプロジェクト規模大幅縮小等により、Aplix IoT プラットフォーム事業、エンジニアリングサービス事業いずれも前年同期と比較して減少。  
MVNO事業においては契約獲得件数は前期よりも増加したが、新収益認識基準の適用により前年同期減少。
- 既存顧客当たりの売上拡大、新規顧客の案件獲得等により上記のマイナス要因の影響を最小限に抑えた結果、前年同期比で▲3.9%で着地という結果に。

## ■ 営業利益・EBITDA

- Aplix IoT プラットフォーム事業においては、継続的に引き合い案件は増加しており、新規顧客の案件数が増加。しかしながら、製品売上の鈍化や顧客における導入スケジュールの延期等により2Qに引き続き赤字という結果に。
- エンジニアリングサービス事業については、一部顧客のプロジェクト規模縮小にもかかわらず上記のとおり既存顧客当たりの売上拡大や新規顧客の案件獲得などにより、当四半期においては85百万円と前年同期と比較して12.5%の増加となった。
- MVNO事業においては、順調にストック収益を積み上げたこと、また2Qから引き続き広告宣伝費等のコストを見直したこと等により、同事業の営業利益が前年2百万円から当四半期は76百万円に増加。
- 全社費用については、減資に伴う外形標準課税の減少や前期まで計上していた株式報酬費用の削減、またその他全般的に継続的なコスト低減を推進したことなどから、前年同期と比べて全社費用が30百万円減少。
- 上記の結果、当四半期の連結営業利益は前年同期比で108百万円増加。

**営業利益、EBITDAが前年同期と比較して大幅に改善。**

# 2022年12月期第3四半期 連結業績概要



(単位：百万円)

	2021年12月期 第3四半期	2022年12月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	2,644	2,542	▲101	▲3.9%
営業費用	2,748	2,538	▲210	▲7.7%
営業利益	▲104	4	108	—
EBITDA	▲24	82	106	—
経常利益	▲106	7	114	—
親会社株主に帰属する四 半期純利益	▲83	26	109	—
(参考)受注残高	139	119	▲20	▲14.4%



# 2022年12月期第3四半期 セグメント別業績概要



(単位：百万円)

	Aplix IoT プラットフォーム		エンジニアリングサービス		MVNO		調整額
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益
2021Q3 累計実績 (A)	139	▲12	346	76	2,158	2	▲170
2022Q3 累計実績 (B)	126	▲17	309	85	2,107	76	▲139
増減額 (B-A)	▲13	▲5	▲37	9	▲51	73	30
増減率 (%)	▲9.7	—	▲10.8	12.5	▲2.4	2,794.4	17.9

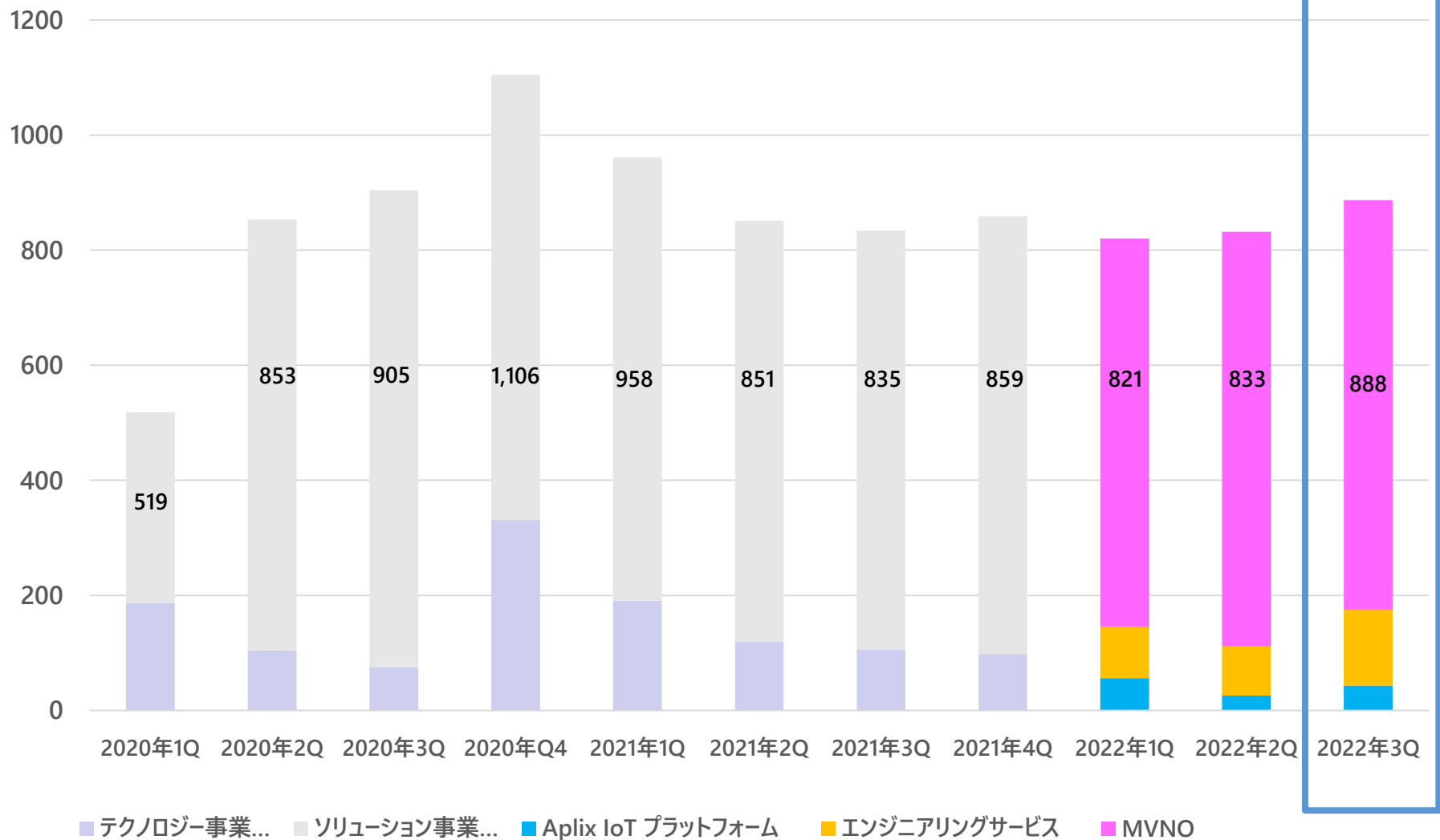
※セグメント売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※調整額：セグメント間取引消去、全社費用を含む

# 四半期業績推移 売上高



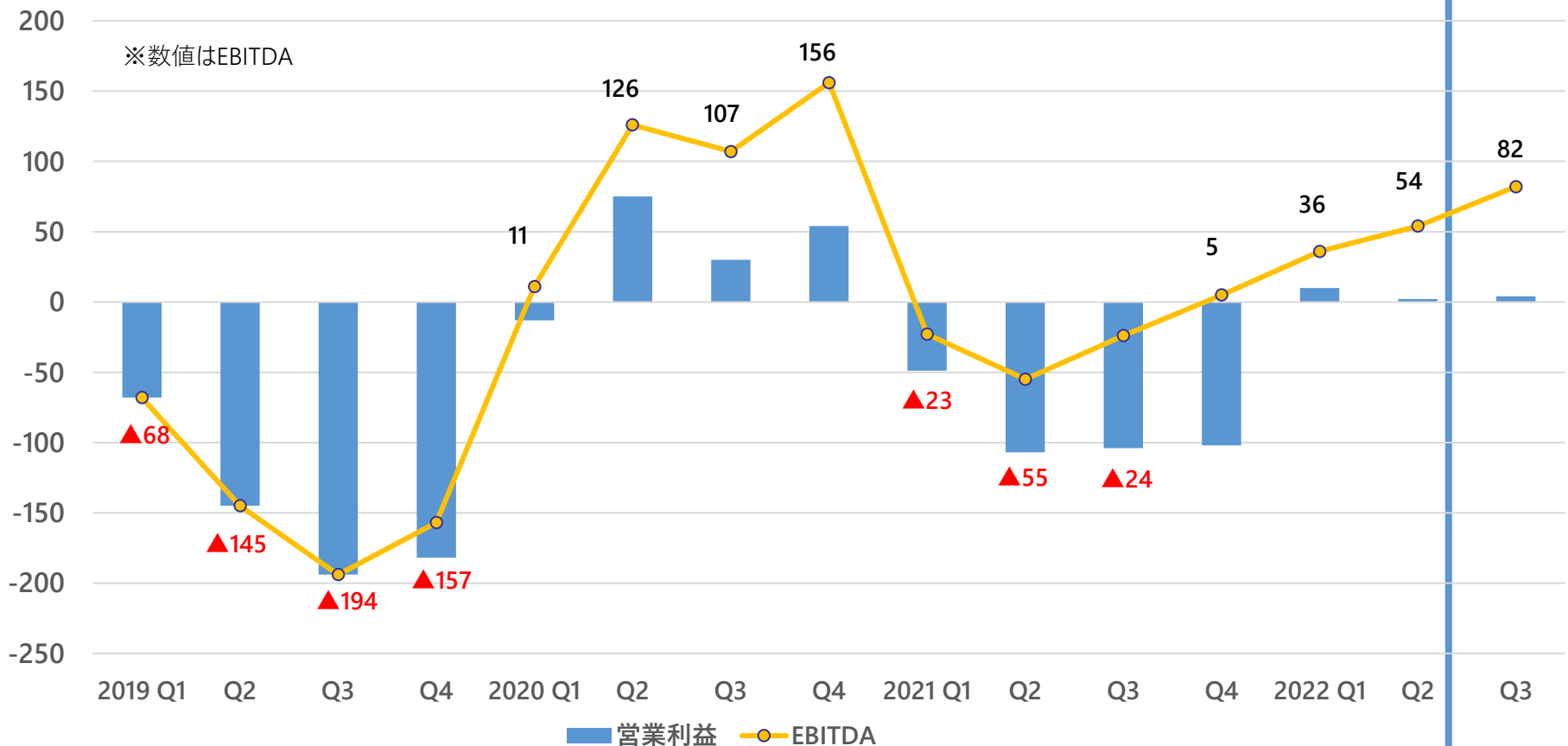
(単位：百万円)



# 経営指標（営業利益、EBITDA）の推移 ※累計ベース



(単位：百万円)



※ EBITDA・・・営業利益+償却費（減価償却費、のれん償却費、顧客関連資産償却費）

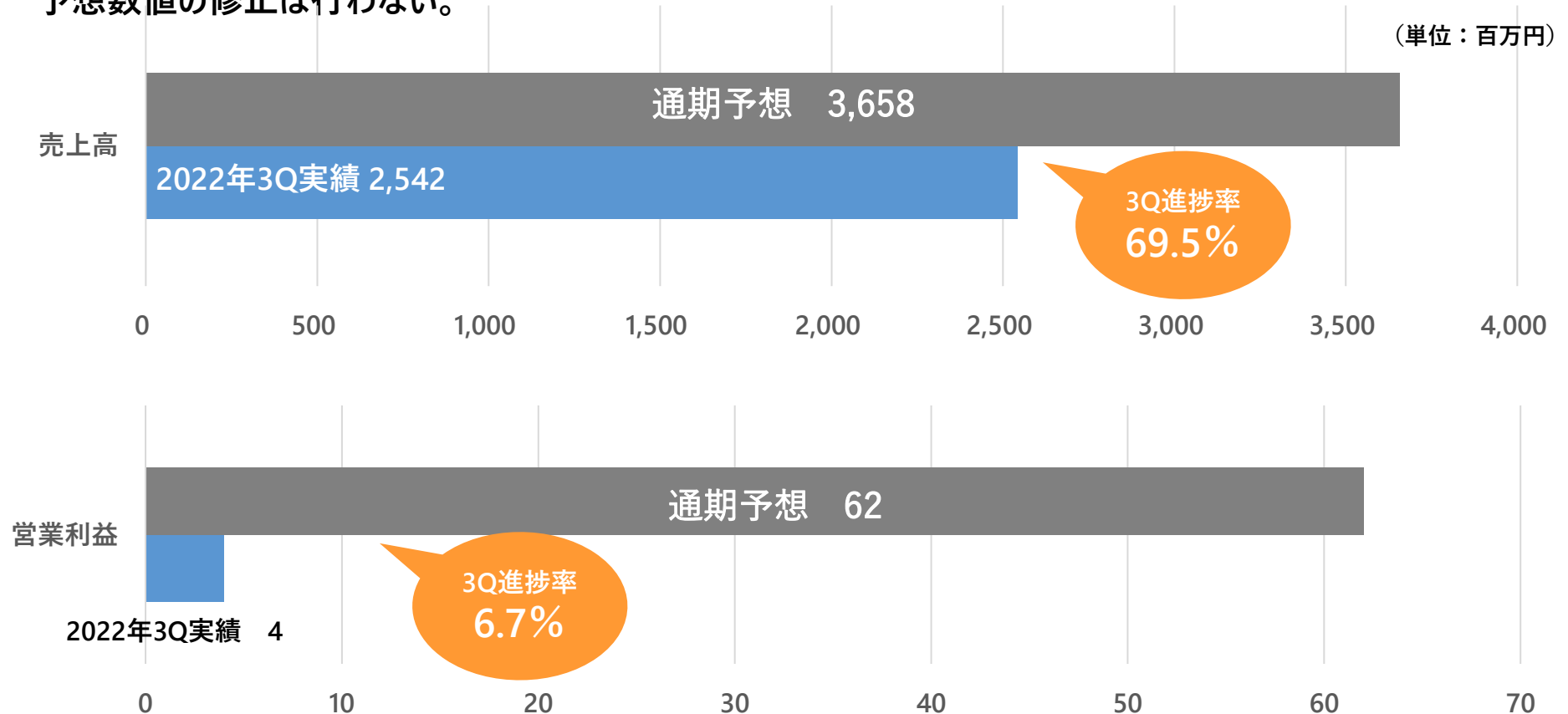
※ 2019年3Qまでは償却費が発生していないため営業利益 = EBITDA

## 2. 2022年12月期業績予想進捗状況

## 業績予想に対する進捗（連結）



- 売上高は期初予想時に見込んだ数値から大きな乖離無く堅調に推移。
- 営業利益についてはAplix IoT プラットフォーム事業の進捗が軟調傾向であるものの、エンジニアリングサービス事業の受託案件数の増加に加え、引き続きMVNO事業が好調に推移していることから、Q2に続き黒字化を維持。
- 現在稼働中の案件などから見込まれる通期業績見込を鑑み、現時点において売上、営業利益いずれも業績予想数値の修正は行わない。

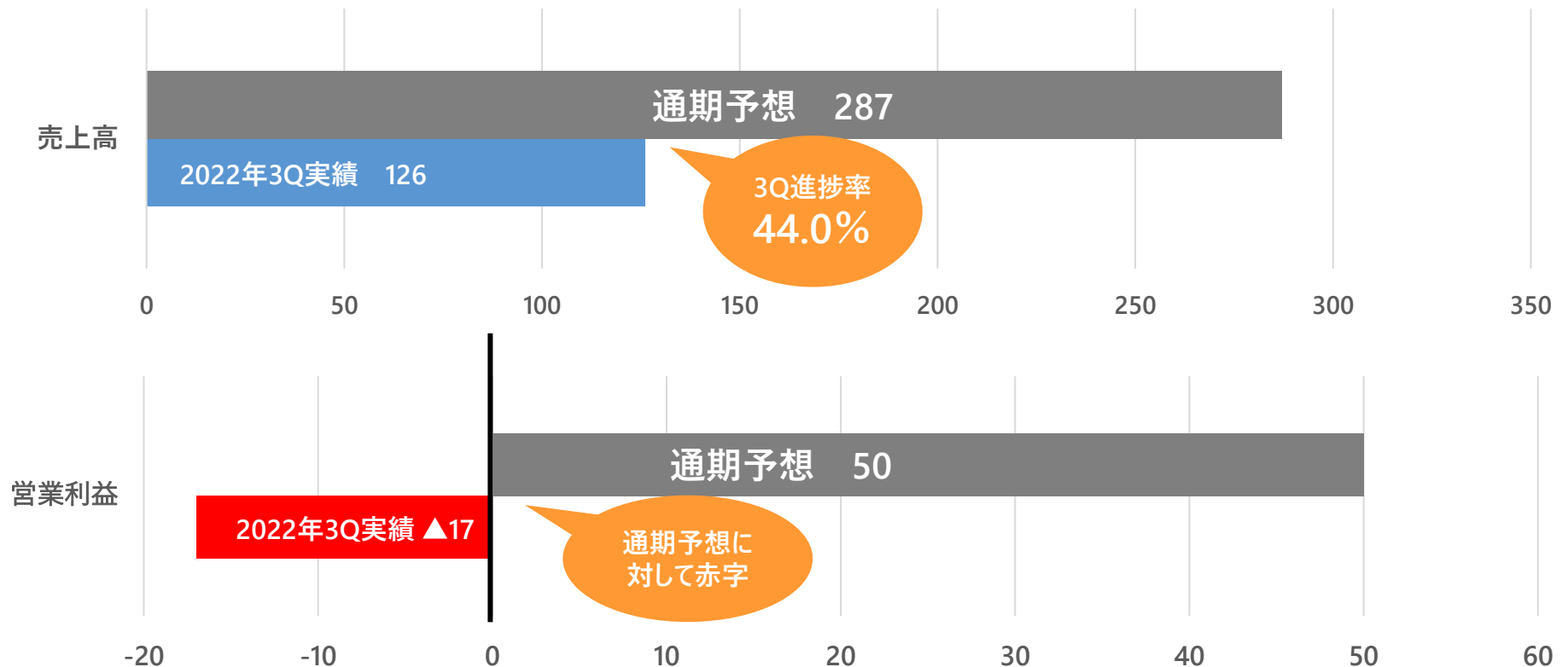


## 業績予想に対する進捗（Aplix IoT プラットフォーム）



- 売上高、営業利益ともに期初予想時に見込んだ数値と比較して軟調に推移。
- 引き続きIoTシステム開発案件などの引き合いが増加傾向（一部受注済み案件として稼働中）  
4Qにおいては現在稼働中の案件を着実に売上計上するとともに、これらの引き合い案件を可能な限り受注すべく、開発体制の強化や人員アサインの適正化などに取り組む。

（単位：百万円）

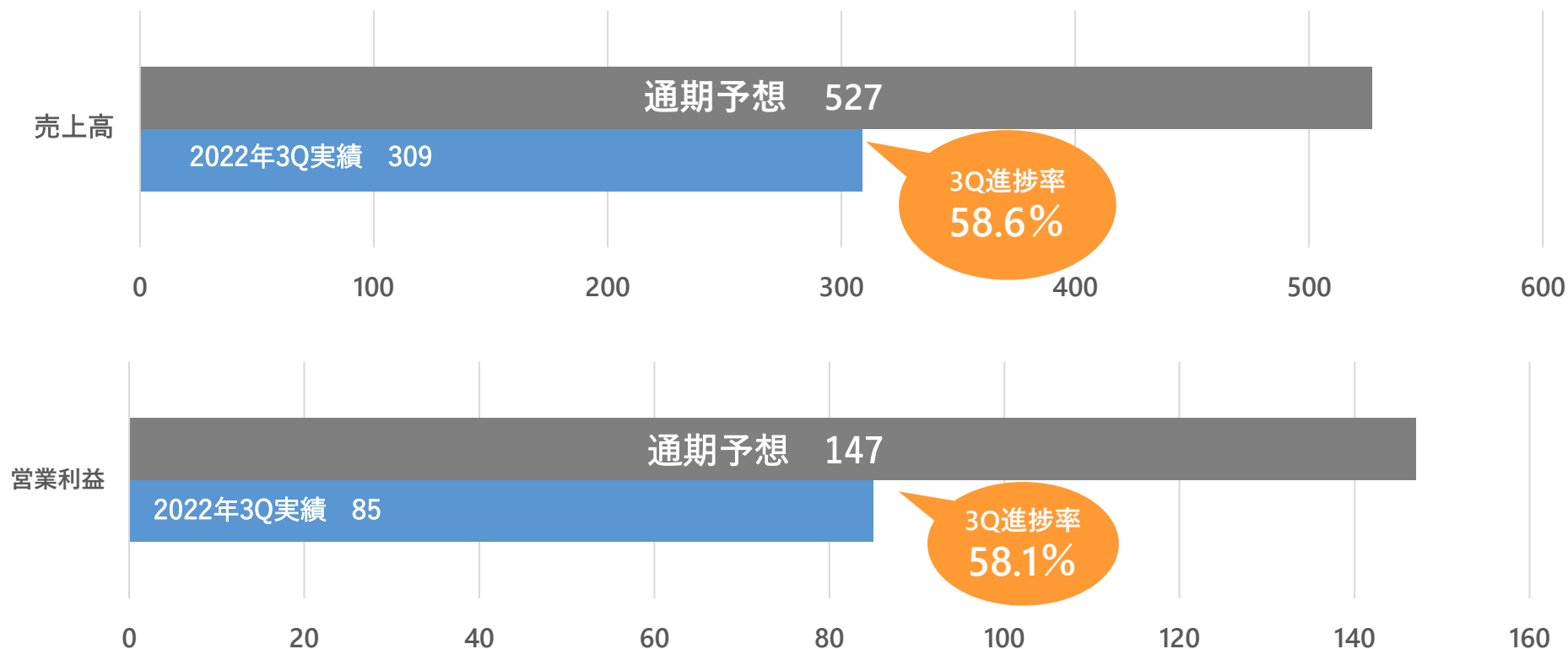


## 業績予想に対する進捗（エンジニアリングサービス）



- 一部のプロジェクトにおいて期初に見込んでいた規模より大幅に縮小したが、その他の受託案件が増加したことにより、2Qまでと比較して売上高及び営業利益の進捗が加速。
- 4Qにおいて現在稼働中の案件が売上計上される見通し。詳細は後記「3. ビジネスの現況報告」を参照。

（単位：百万円）

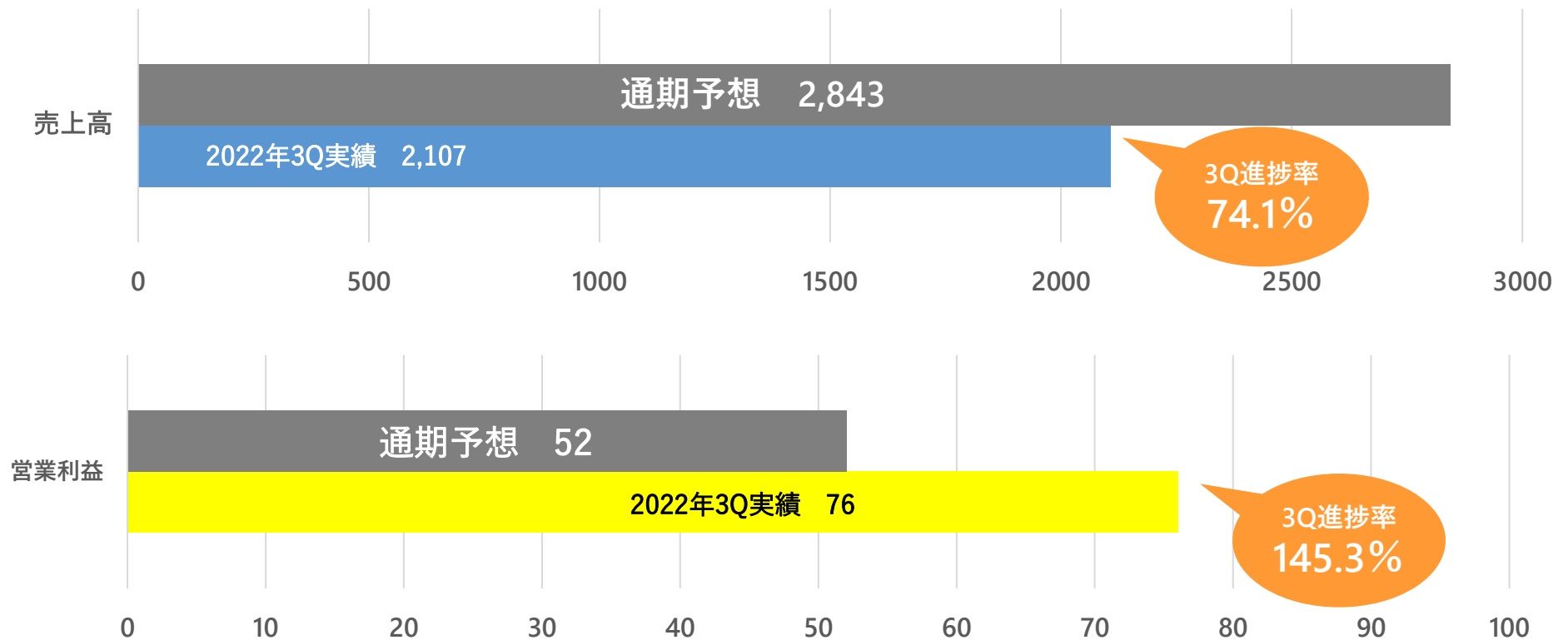


## 業績予想に対する進捗（MVNO）



- 売上高及び営業利益いずれもストック売上が順調に積み上がったことにより売上高については好調に推移。また営業利益については2Qに続いて通期予想値を上回る。
- 引き続きモバイルWiFiルーター「THE WiFi」や本年3月より販売を開始したスマホ初の5G対応サービス「スマホWiMAX+5G」など訴求力の高い製品・サービス販路の開拓や広告宣伝、他のMVNO事業者向けのサービス提供等を通じて売上拡大を目指す。

（単位：百万円）





## 3. ビジネスの現況報告

### Aplix IoT プラットフォーム事業

- モニタリングプラットフォームサービス「HARPS」が飲食店チェーン向け企業に採用。各店舗への導入が進行中。一部店舗には導入済み。
- 健康機器メーカーが経営するトレーニングスタジオ用のアプリケーション開発。
- アプリックスが販売代理店を務めるNeutrix Cloud Japanのクラウドサービス「Neutrix Cloud」リセール販売について新規契約獲得。また販売パートナーについても拡大中。
- その他、決済機能付きタブレット端末開発案件などの新規開発案件が稼働中。

### エンジニアリングサービス事業

- 宅配水事業者の基幹サーバリプレイスに関するアプリケーション開発。また本リプレイス案件に付随してインフラ基盤開発を受注。
- クラウドサービス事業会社のクラウドシステムポータル開発。
- 大手飲料メーカーの一般家庭向け献立支援アプリケーション開発。
- その他ネスレ日本様を始めとする既存ユーザーのシステム開発支援、また数社より新規開発案件受注。

※「MVNO事業」の現況については前記「業績予想に対する進捗（MVNO）」に記載。

4Qまでにこれらの案件が順次売上に計上予定  
（一部は3Qまでに売上計上済み）

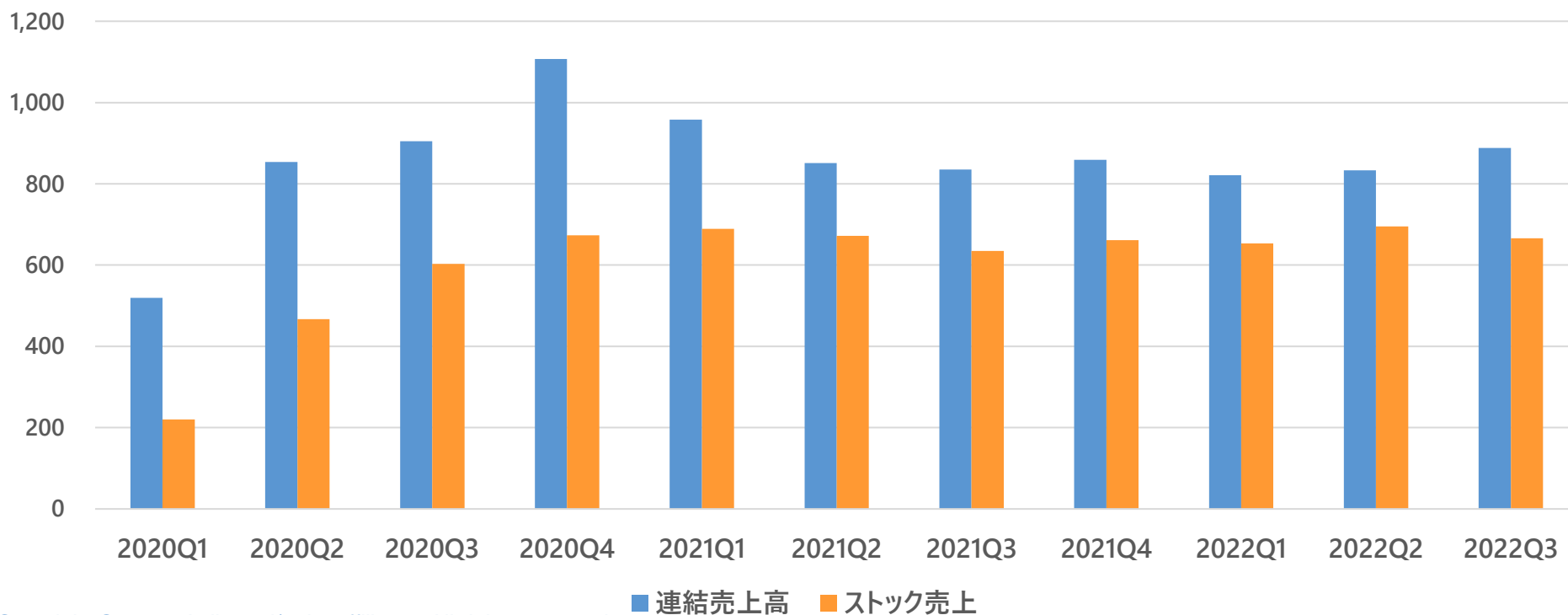
## 4. 参考情報

## <参考>ストック売上高の推移

- アプリックスグループにおけるストック売上
  - ①受託開発における保守・サポート業務
  - ②クラウドサービス等の月額利用料金
  - ③SMCが提供するサービス（MVNO、unio、AORINO）の月額利用料金等

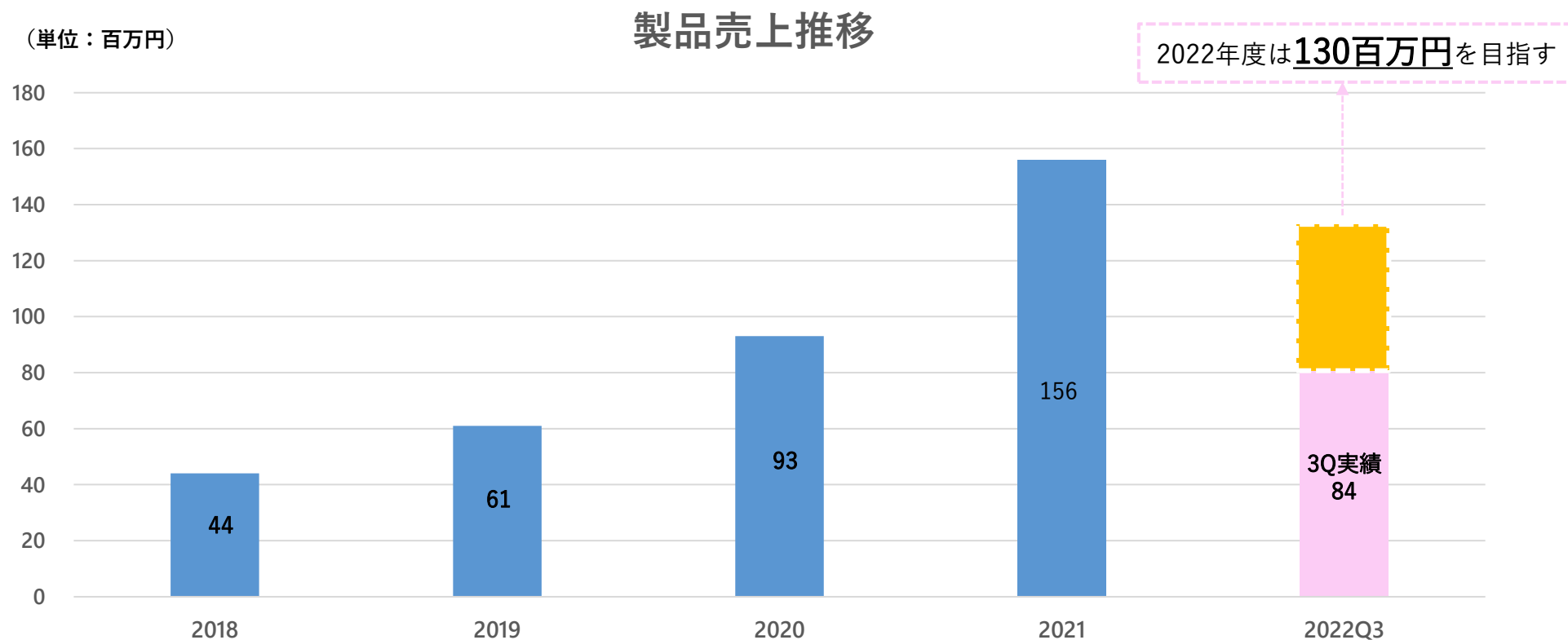
(単位：百万円)

### ストック売上高の推移



### <製品売上>

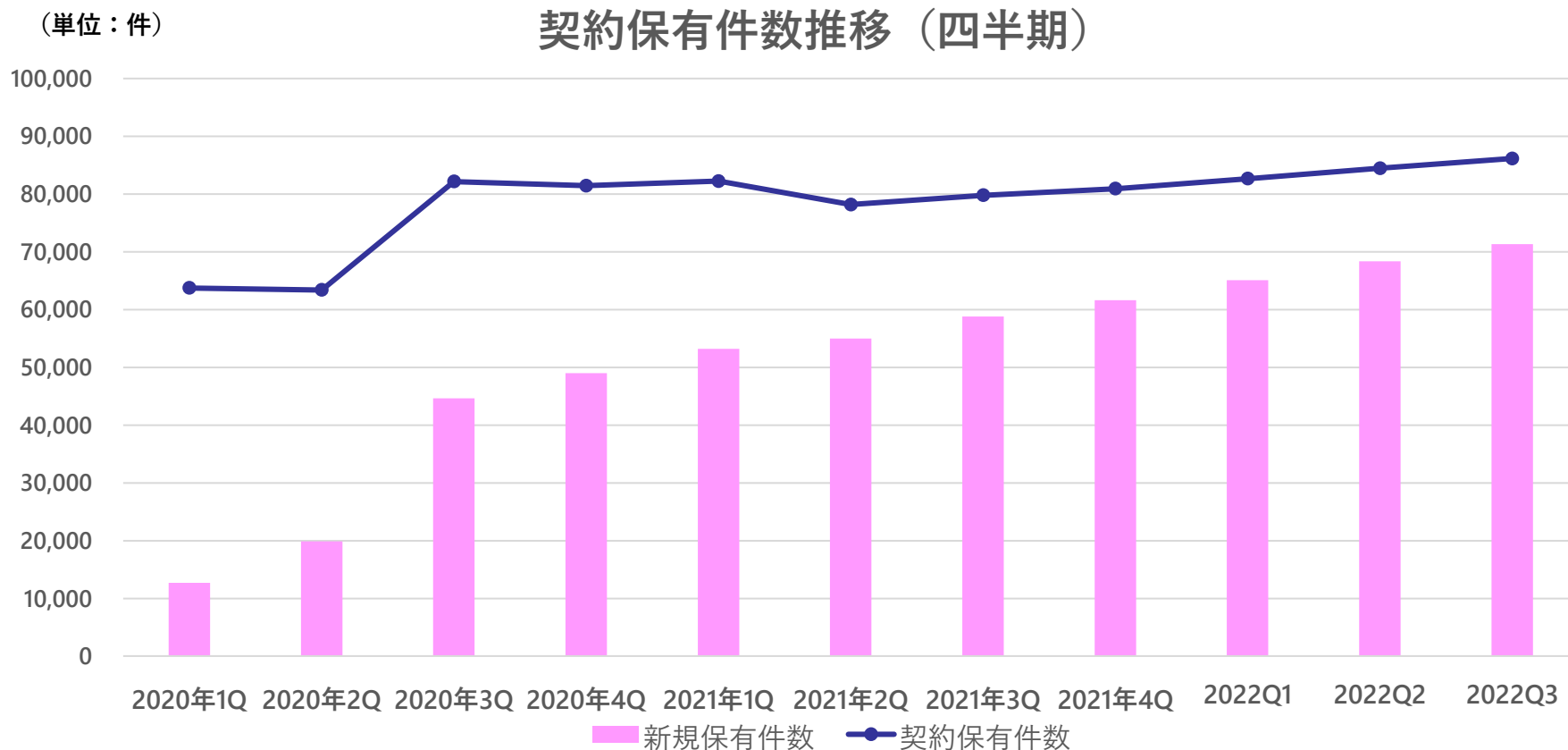
本事業におけるメインプロダクト「MyBeaconシリーズ」をはじめとする製品の売上増加を図る。



✓ 引き続き引き合いは多いものの世界的な半導体や部品等の供給不足等による影響等により、下半期の伸びは保守的に見込む。

## <参考> MVNOにおける保有件数の推移

- 2022年度目標件数は81,582件
- ストック収益のベースとなる新規保有件数は微増傾向



✓ 大手キャリアの格安プラン展開等の影響を受けつつも、戦略的なメディア活用などによりOEMや「THE WiFi」による新規顧客獲得が順調に推移。

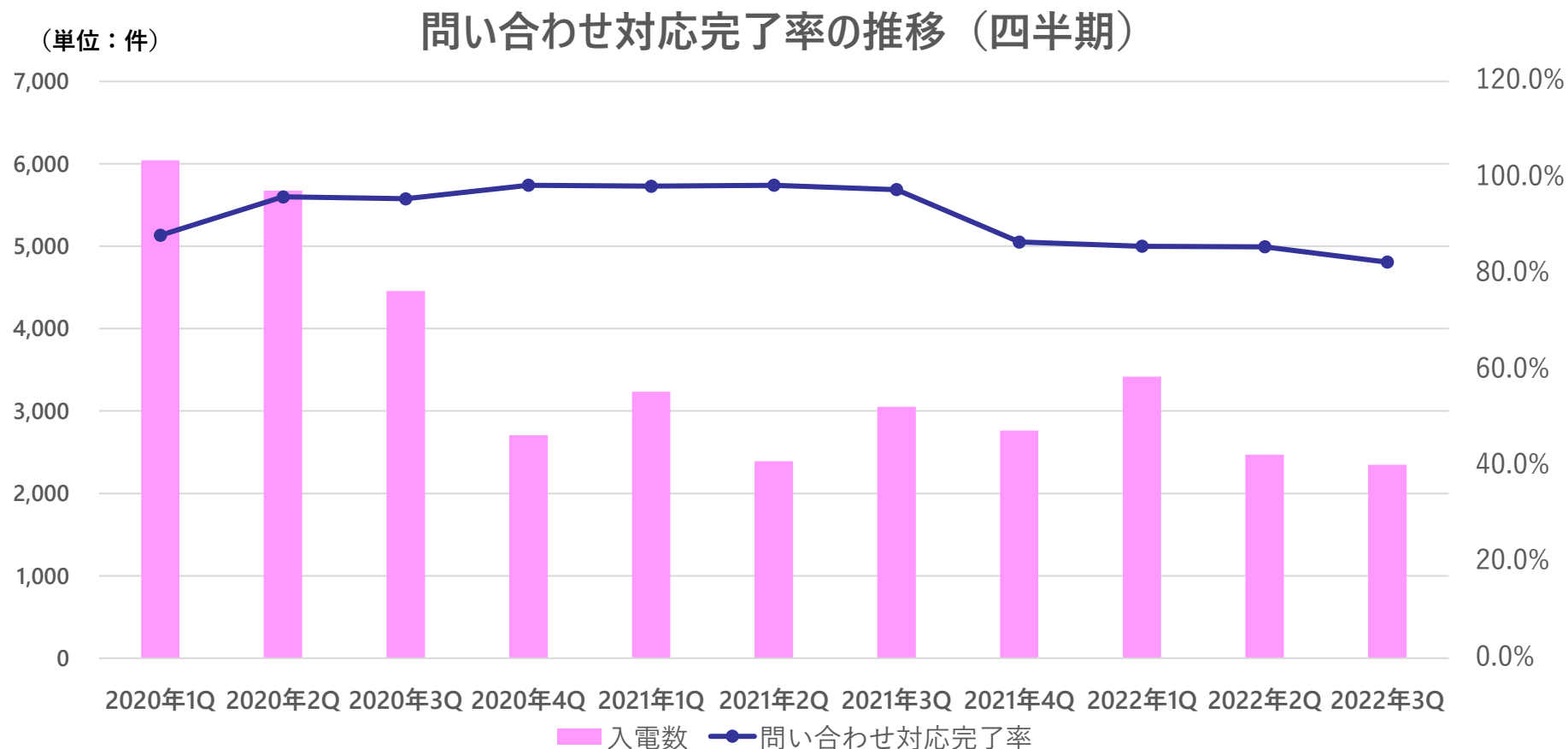
## <参考> MVNOにおける問い合わせ対応完了率の推移



顧客がカスタマー対応に不満を抱くことで発生する顧客流出数減少を目的とした指標。

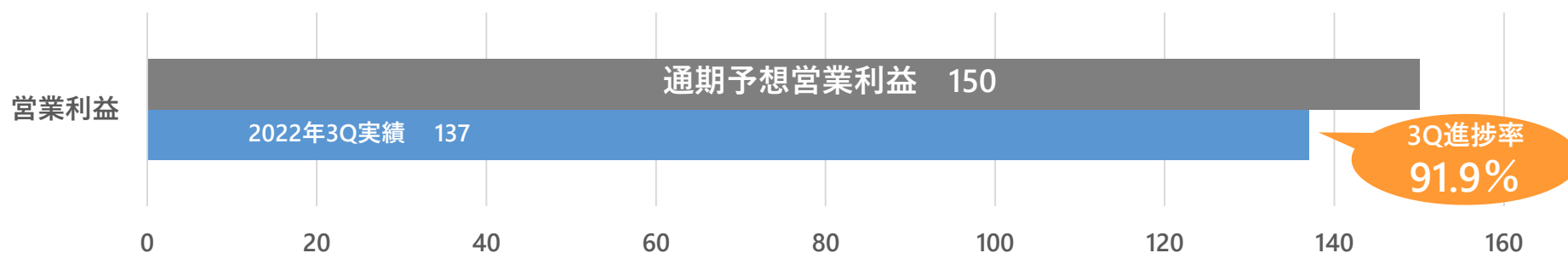
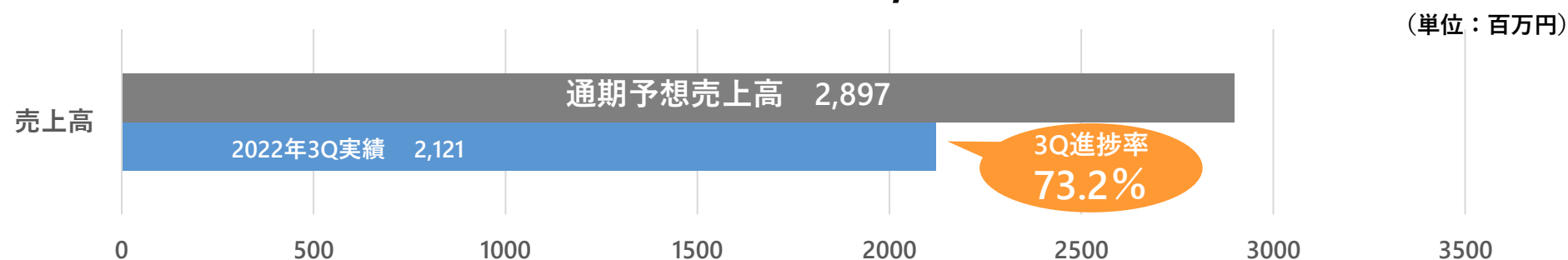
●問い合わせ対応完了率目標値：90%以上

- コスト適正化を目的とした配置席数の抑制やIVR(自動音声応答システム)等によるマイページ誘導により受電率自体は低下傾向であるものの、マイページの利用率は向上傾向であるため、問い合わせ内容の解決状況については影響無し。



2022年12月期第3四半期

売上高	2,121百万円	前年同期比 ▲1.9%
営業利益	137百万円	前年同期比 210.1%
新規獲得件数	27,058	
保有件数	86,159	





## ■ 業績への影響

Aplix IoT プラットフォーム事業におけるIoT製品「MyBeaconシリーズ」について、新型コロナウイルス感染症の蔓延による工場閉鎖等の影響により世界的に半導体不足が発生していることから、必要部材の調達に滞る可能性があります。ただし、現段階では当社連結業績に大きな影響を与える規模のものではないと考えております。

## ■ 当社グループの取り組み

従業員のオフィス内感染を防ぎ安心安全に働ける環境を作るため、そして恒常的に働きやすい環境を整備するため、2020年より当社及び主要な子会社であるSMCの勤務形態を完全テレワークに移行し、在宅勤務手当等の制度を構築しました。出社は業務上必要な場合に限り、従業員の出勤率は10%程度を維持しています。また、出勤時においては手洗い・消毒、咳エチケットの推奨やフロア換気等、感染防止策を徹底的に実施し、感染拡大の防止に積極的に取り組んでいます。

# 5. 事業内容

アプリックスグループの事業構成は以下の通りです。  
次ページ以降で各事業の詳細を説明します。

### Aplix IoT プラットフォーム

IoTを実現する「組み込み & エッジ」、「IoTクラウドプラットフォーム」、「モバイルデータ通信」の領域において、  
自社で仕様策定・開発する製品・サービスを提供

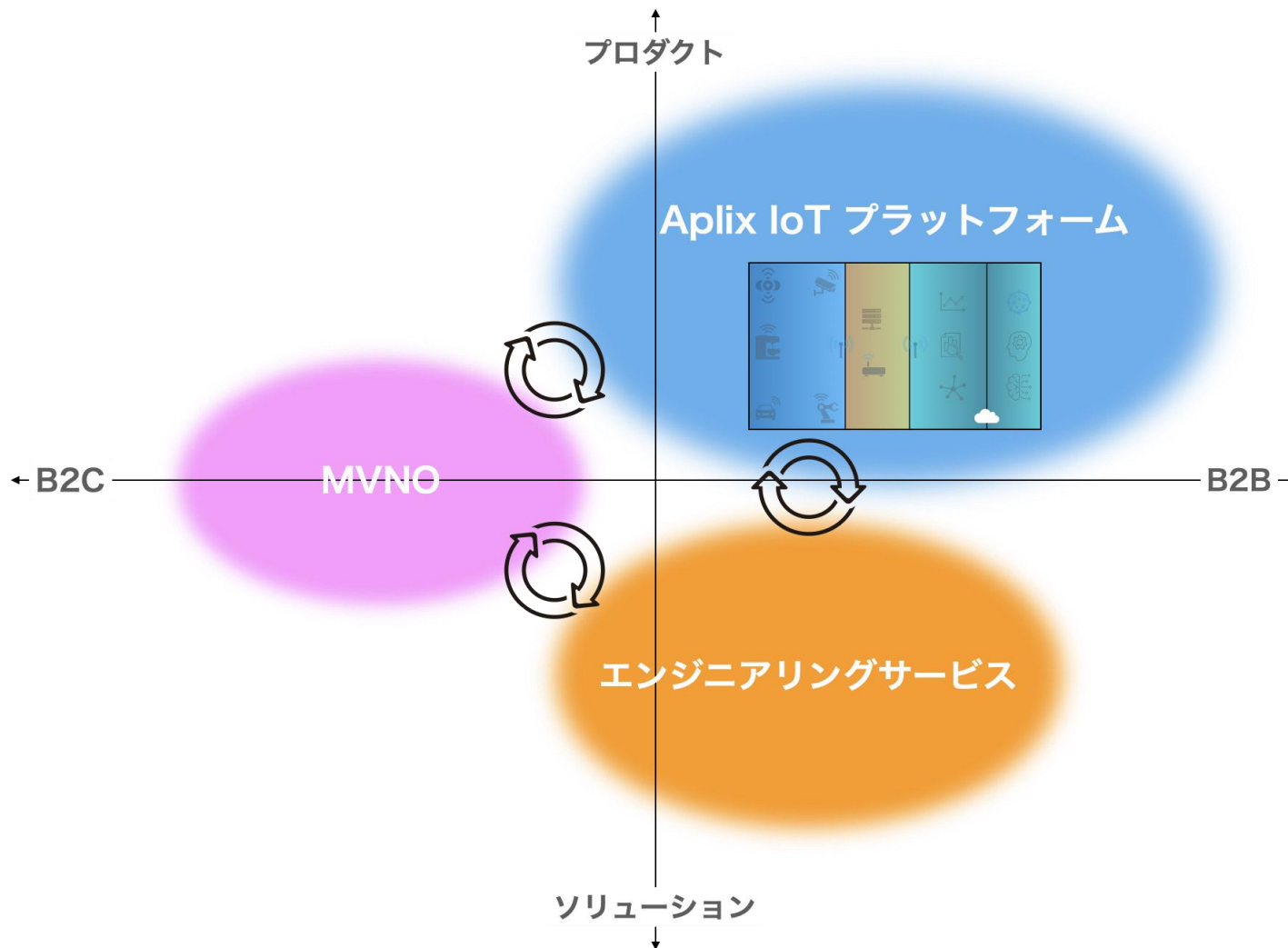
### エンジニアリングサービス

アプリックスが強みとする組み込み & エッジからクラウドまでワンストップで開発できる  
技術を用いて顧客が実現したいサービスや仕組みを実装

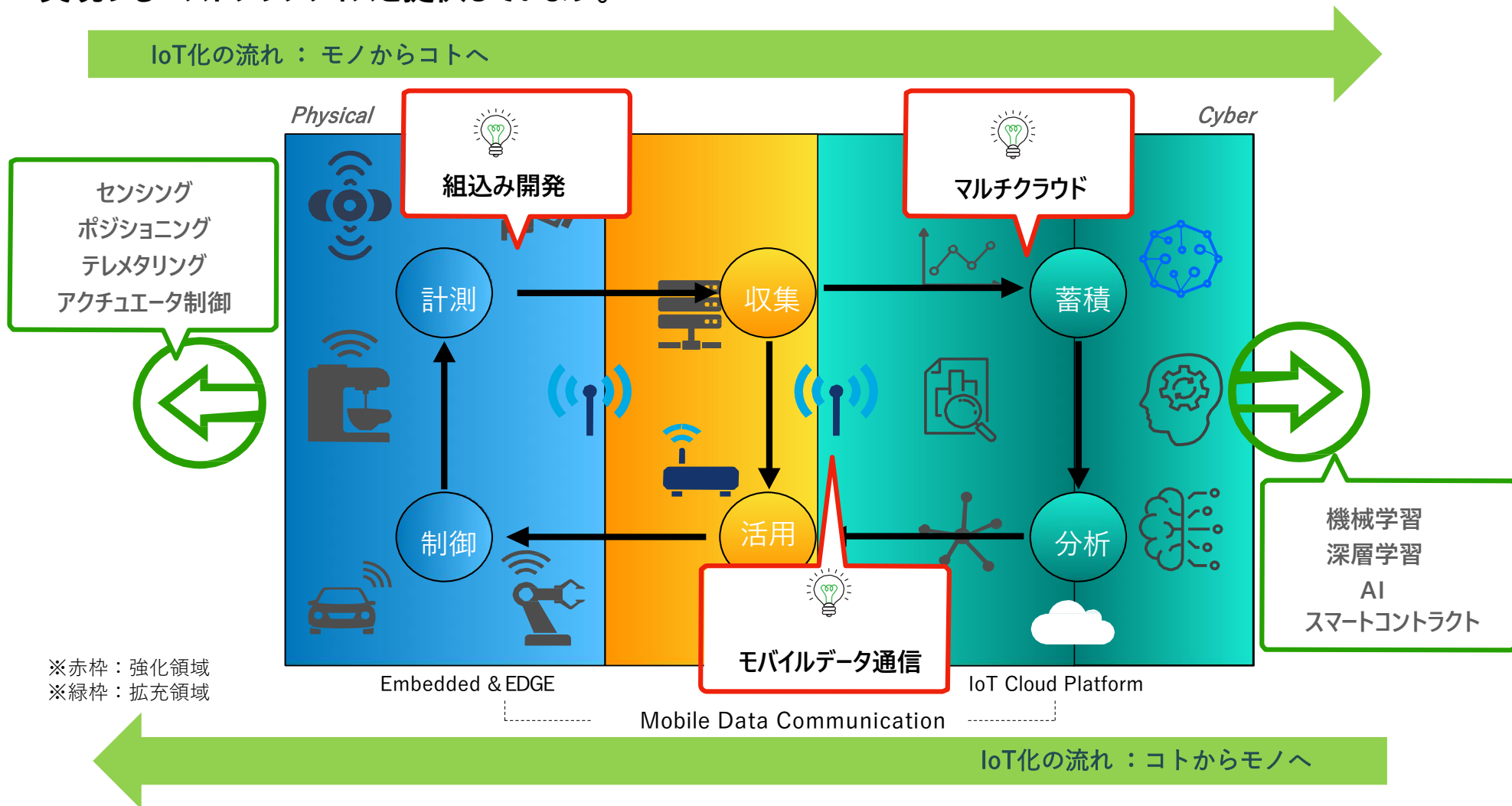
### MVNO

MVNO事業者として格安ケータイ、格安SIMカードや通信サービスを提供

「Aplix IoT プラットフォーム」を中心に、組み込み & エッジからクラウドまでワンストップで開発できる技術を用いて顧客が実現したいサービスや仕組みを構築する「エンジニアリングサービス」と「MVNO」を連携した専門性の高いサービスを提供することで、グループの発展を図っています。



IoT化に必要な組み込み&エッジ、IoTクラウドプラットフォーム、モバイルデータ通信の各領域における製品やサービス、技術等の強化、拡充を通じてIoTのライフサイクル（計測→収集→蓄積→分析→活用→制御）を実現するベストプラクティスを提供しています。

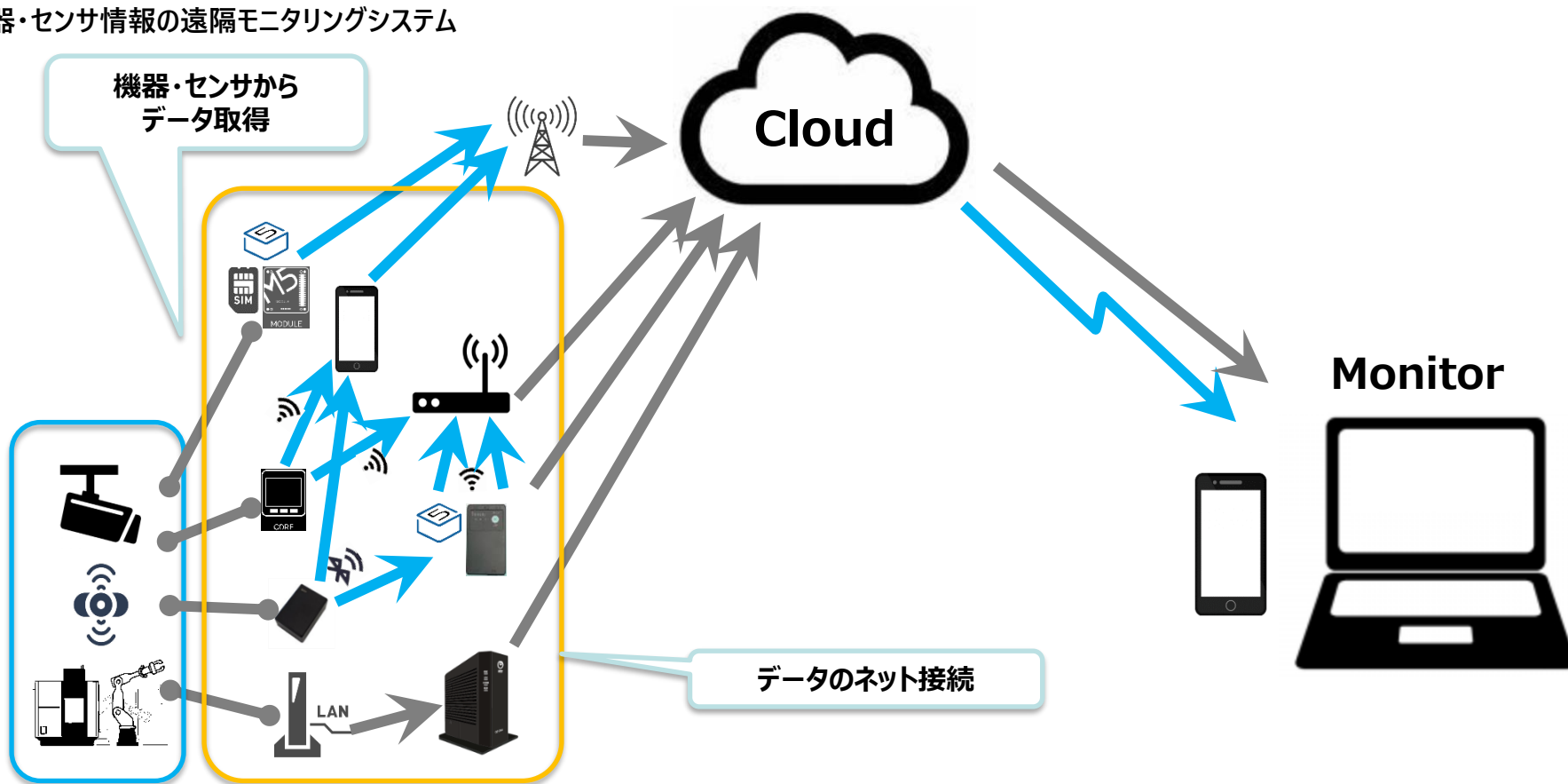


※赤枠：強化領域  
 ※緑枠：拡充領域

## IoT製品・技術・サービス等を用いたシステム開発

機器の状態やセンサー情報をIoT機器でクラウドに収集、エッジデバイスで分散処理、クラウドシステムでデータを分析・活用、デバイスに指示を出して制御する等、IoTが実現する一連のシステムの動きを顧客向けの製品開発やシステム開発等で実現しています。

(例) 機器・センサ情報の遠隔モニタリングシステム



## ロケーションビーコン「MyBeaconシリーズ®」

「MyBeaconシリーズ」とは、Bluetooth Low Energyモジュールを使用した当社のBluetooth Smart製品。Beaconに対応したiOSデバイス向けにデータを発信し、iBeaconに対応したiOSデバイスを使って発信するデータを書き換えることが可能です。

これまで、飲食業界、アパレル・ファッション業界、観光業界、運輸業界、レジャー・エンタメ業界などでのO2O や位置情報、マーケティング、施設・展示案内、行動把握・分析などの幅広いサービスで採用。

顧客仕様のカスタマイズにも対応しています。

### <「MyBeaconシリーズ」ラインアップ>

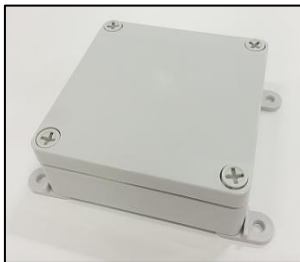
汎用型



近接域特化型



防水防塵型



ペンダント型



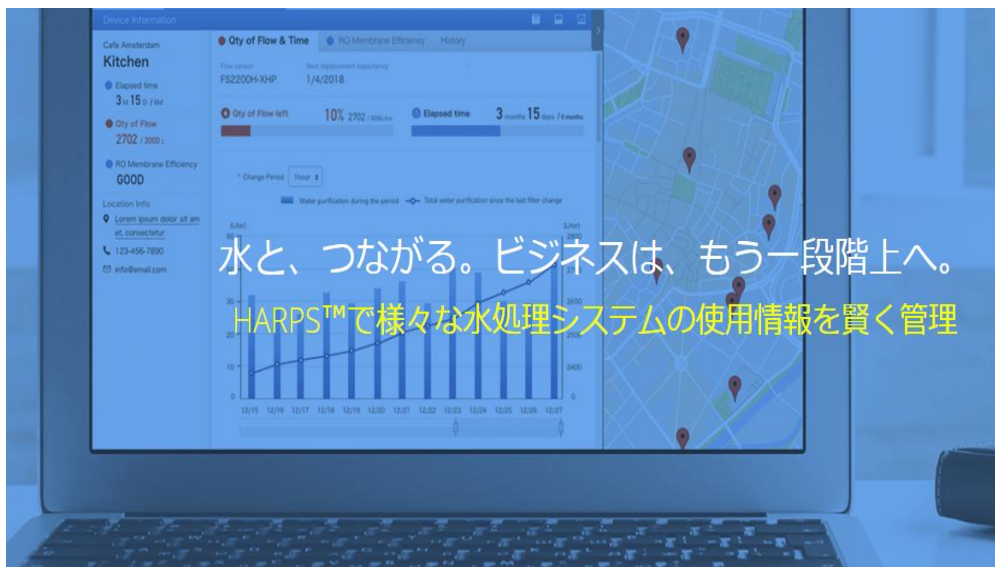
USBスティック型



## モニタリングプラットフォームサービス「HARPS™」

「HARPS」は、水の利用量や汚染度合い等のデータをクラウドサーバーにアップロードし、「HARPS Dashboard」で浄水器のフィルター利用状況や交換時期等をモニタリングすることができるクラウドサービス。

既存の設備に外づけが可能であるため新たな製品の設計開発を行うことなく導入し、収集したデータを活用できることから、浄水器メーカー、飲食店、住宅設備メーカーといった水に関連する機械、工場、施設などを販売・所有している法人のビジネスに合わせて利用可能です。海外ではガソリンスタンドに設置するウォータースタンドの水量や汚染具合等のモニタリングに使用されています。

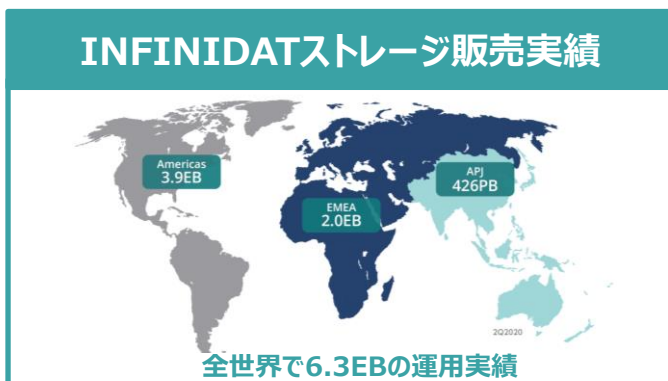




## マルチクラウドストレージサービス「Neutrix Cloud」

Neutrix Cloud Japan株式会社が提供するクラウドストレージサービスの販売代理店として、高速・大容量・低価格のストレージクラウドサービスNeutrix Cloudを販売。PoC、マルチクラウドを前提としたシステム開発・移行・運営管理サービス、その他クラウド関連システムの開発等も提供しています。

### 《INFINIDAT Neutrix Cloudのご紹介》



#### 経済性に優れた価格設定

クラウドストレージを¥10/GBで提供し、データ転送料金等コストを大きく下げる事が可能

#### サービスポートフォリオ

「コンピュータ」、「ネットワーク」、「ストレージ」等のクラウド基盤も同時に提供可能

## 通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO™(アオリノ)」 ・AORINO公式サイト <https://aorino.jp/>

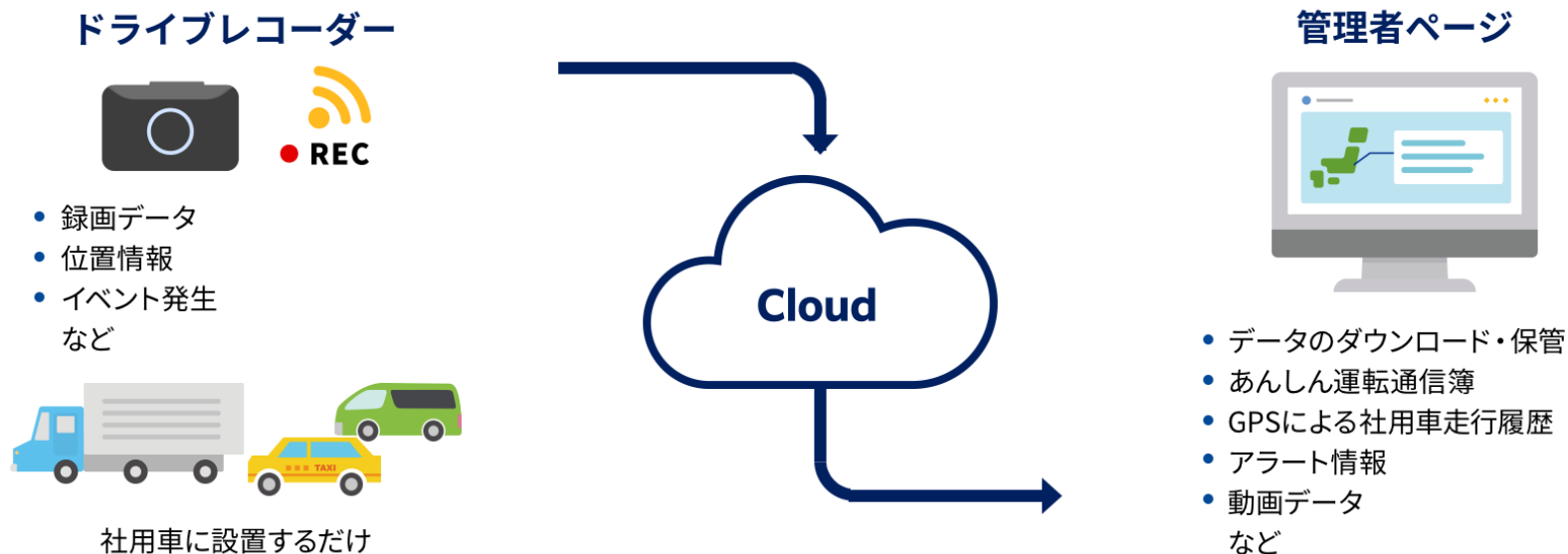
通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO（アオリノ）」は、昨今、日本国内で社会問題化しているあおり運転を中心とした危険運転行為の対策に特化したサービス。  
ドライブレコーダーという車載端末を中心に、アプリックスの組み込み開発とクラウドソリューション、SMCのモバイルデータ通信を組み合わせることで、Aplix IoT プラットフォーム事業が目的とする「情報の計測から収集、蓄積、分析、活用、制御までのIoTのライフサイクル」を体現したビジネスです。



## 法人向け 通信機能付 AI ドライブレコーダー「AORINO Biz」(アオリノ ビズ)

通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO」にドライブレコーダーの走行履歴一覧や現在位置マップデータなどの複数データの管理が可能な管理者ページや、2022年10月より自動車を業務に使用している事業者に対してアルコール検知器の設置が義務付けられることを受けて新たに加えたアルコールチェック機能（※オプション販売）など、様々な機能を付けた新たなドライブレコーダーサービス。

・AORINO Biz公式サイト <https://aorino.jp/biz/>



## IoT用データ通信サービス「unio(ユニオ)」

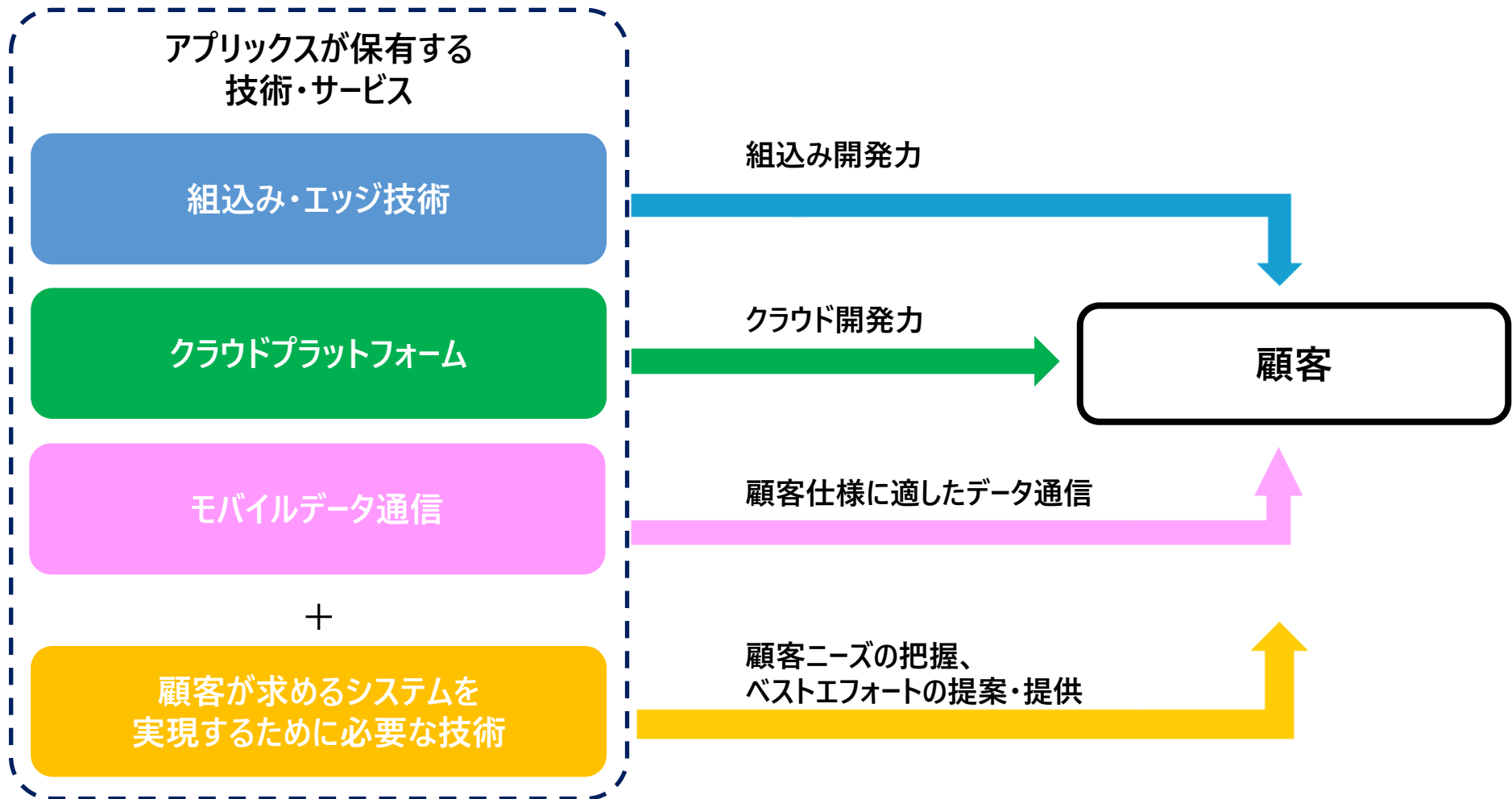
「unio（ユニオ）」は、MVNO事業者としてMVNOサービス「スマモバ」を運営し、3G、4Gの顧客管理やサービス運用ノウハウを有するSMCが提供する、法人向けIoT用データ通信サービス。機器監視、位置情報取得、見守りサービス、モニタリング、防犯・監視カメラなど様々な用途に利用できる汎用性の高さが特長です。

### <「unio」の特徴>

- NTTドコモLTE回線を利用
- SIMタイプはデータ通信のみ（SMSの付帯が必要な場合は別途ご相談）
- SIMサイズ（標準・micro・nano）対応・用途に応じた3つのプランを用意

プラン内容	通信制限	月額料金	利用用途
通常プラン	通信利用量 1GB/月	月 200円～	翻訳機、機器監視、位置情報取得、見守りサービス
低速大容量プラン	通信速度 1Mbps	980円～	モニタリング、POSレジ、リモート管理
高速大容量プラン	別途相談	別途相談	防犯・監視カメラ

Aplixプラットフォームで提供する3領域の技術を基軸とした技術を用いて、顧客が実現したいサービスや仕組みの開発・運営管理等を行うシステムエンジニアリングサービスを提供しています。



## < 開発事例 >

### ■システム開発支援（ネスレ日本株式会社様）

ネスレ社のコーヒーマシン「ネスカフェ バリスタシリーズ」、「ネスカフェ ドルチェグストシリーズ」のアプリケーションおよびIoTプラットフォームをアプリックスが開発・運用しています。



ネスカフェ ゴールドブレンド  
バリスタ デュオ プラス



ネスカフェドルチェグスト  
Esperta (エスペルタ)



ネスカフェドルチェグスト  
GENIO I (ジェニオ アイ)



ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタW [ダブリュー]

スマホでさらに楽しめる！  
充実のカスタマイズ機能

Bluetooth 対応

A smartphone icon with a blue Bluetooth symbol next to it.

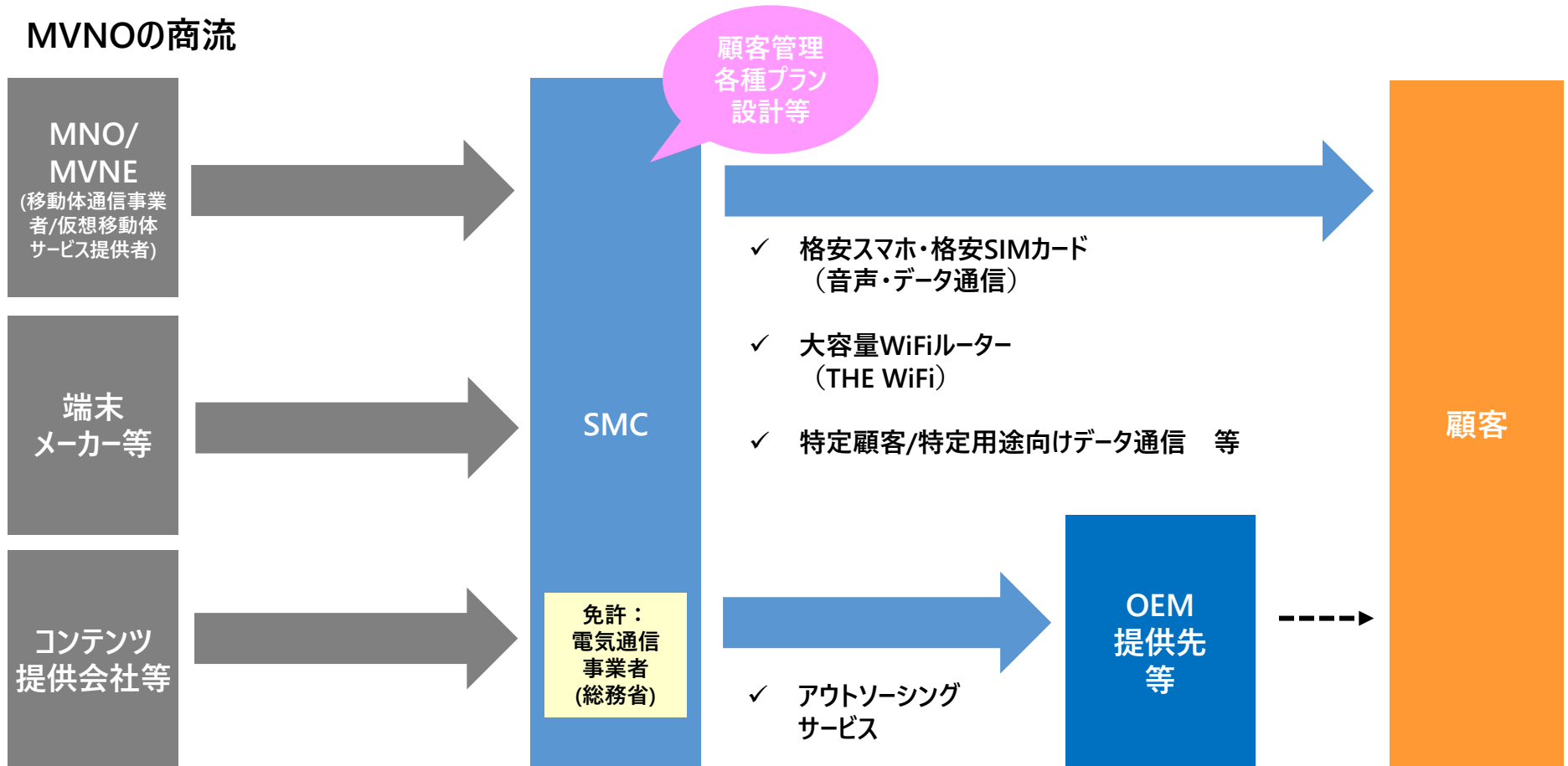
アプリでコーヒーの  
濃さ・泡立ちを調整

飲めば飲むほど  
ポイントがたまる

家族や友達と  
つながる

MVNO（仮想移動体通信事業者）とは、移動体通信網設備を他社から借りてサービスを提供する事業者です。当社グループは、回線・端末・コンテンツ等の仕入から、販売代理店等の活用、様々な通信プラン設計、他社ブランド向けの通信サービス提供、契約管理から収納管理までの一連のバックオフィス業務を行うことができる点を強みとしています。

## ➤ MVNOの商流



子会社のSMCにおいて展開するMVNOでは、以下の製品・サービスを提供しています。

### ① 格安ケータイ・格安SIMカード (音声・データ通信サービス)

- 自社ブランド「スマモバ」
- 他社ブランド (OEMサービス等)



### ② モバイルWiFiルーター

新型コロナウイルス感染拡大によるテレワーク需要の増加を受け、MVNO事業の一環として2020年3月よりモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の提供を開始。2022年3月より「スマモバWiMAX+5G」の提供を開始。



### ③ 特定顧客/特定サービス向けデータ通信サービス

※ IoT用データ通信サービス「unio(ユニオ)」、通信機能付AIドライブレコーダー「AORINO(アオリノ)」は「Aplix IoT Platform事業>ソリューション事業」にて売上計上しています。



MVNO市場においては競争激化の様相を呈しています。当社グループは以下の競争優位性を活かし、他社との差別化を図ります。

- 回線・端末・コンテンツ等の仕入から、販売代理店等の活用、様々な通信プラン設計、他社ブランド向けの通信サービス提供、契約管理から収納管理までの一連のバックオフィス業務を行うことができる点を強みに、SMCは約8万の契約件数を保有。MVNO事業者の上位約6%に所属。  
(サービス提供契約件数。連結業績に取り込まない代理店取引の契約件数(※)を含む)

### 【MVNO事業者における契約数分布（2021年12月末時点）】

➤ 総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（令和4年度第1四半期（6月末））別紙」より



- 携帯電話業界における価格競争の影響を低減するため、自社で顧客管理から各種プラン設計、独自サービスの提供が行える点を生かして、独自販路やサービスを有する企業向けOEMサービスの提供、大容量モバイルWiFiルータ、法人向けデータ通信、ドライブレコーダ等の通信機能付きサービスの提供など幅広く展開。
- ※ 主にMVNOサービス提供を行う子会社SMCにおいて一部代理人取引に属する取引が存在するため、連結業績ではそれらの取引から発生する収益を除外している。



株式会社アプリックス  
<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。